昭和三十四年十月一日に、長岡郡後免町、香長村、香美郡岡豊村、野田村、岩村の一部が合併して県下で九番目の市として南国市が発足して三十年。その間、人口は四万四千四百人から四万七千八百人に増え、田園都市として、また高知県の空の玄関高知空港を擁する市として市民の皆さんのさまざまな努力によって発展してきました。

そして平成元年の今年市制施行三十周年を迎えるわけですが、これまでの市の歩みを振り返り、市民総参加で未来の南国市を考えるという目的で、昨年からさまざまな記念事業を市制施行三十周年記念事業実行委員会などで検討してきました。三月三日の実行委員会でその概要が決定しましたので、お知らせします。

事業の概要決まる

への人づくりまちづくり

世界に羽ばたく 市民の翼 ◇◇

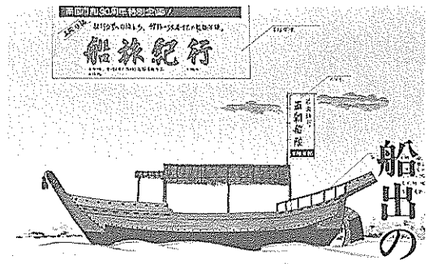
本市は高知県の空の玄関。その高知空港から国際チャーター便を飛ばして国際交流、研修を行おうと『俺んくの庭から、隣の国の玄関へダイレクトの旅』を企画しています。

八月二十四日から四泊五日の日程で、昨年ソウルオリンピックを成功させた躍動する韓国へ。総勢百六十人が目的別に分かれてスポーツ交流や文化交流、視察などを行い、新しいふるさとづくりにつなげていきたいと考えています。私たちが伸びゆく韓国から学ぶものは…

新しい市民の祭 土佐のまほろば まつり ◇◇

吾岡山の山頂で繰り広げられる弥生時代から現代までの南国市の絵巻物。七月二十二日、二十三日の二日間、過去をよみがえらせての体験コーナーや食コーナー、遊びのコーナーなど、市民みんなが参加して楽しんだ後は打ち上げ花火でフィナーレ。この地が土佐のまほろばであることを再確認し、将来の発展へとつなげる夢とロマンの市民の祭。

土佐日記 船出のまつり ◇◇



平安の昔、国司として土佐に赴任してきた紀貫之が帰京するときの様子や気持ちを綴った土佐日記。この優れた紀行文学と出会う祭りはこの地ならではのもの。

比江の紀氏邸跡での門出の儀式の後、高知市弘化台から大湊まで約百人が船旅体験。大湊では大勢の人々に一千五十年前の味などを楽しみながら土佐日記に親しんでもらおうという、新しい観光資源を掘り起こし、経済の活性化を図る歴史を体験する祭。

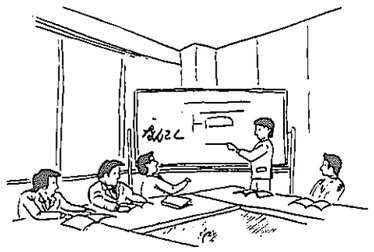
厳粛かつ盛大に 記念式典 ◇◇

市制が施行された日である十月一日には記念式典と祝賀会を行います。市民主体の斬新なセンスとアイデアあふれた式典で市民の共感と連帯を図り、いっそうの市の発展を期するために。

市政に積極的な提言を 南国市青年 市民会議 ◇◇

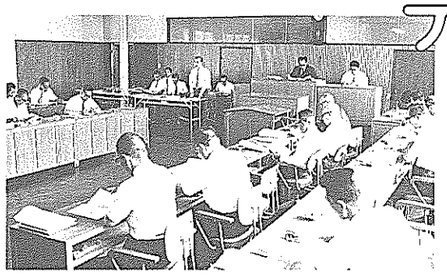
地域や職場で中心となって活躍している二十五歳から四十歳くらいの青年三十人で構成。近い将来、地域づくりの核としての活躍が期待されるさまざまな生活領域や職業領域の青年に、人との触れ合いや心の通い合いを通してその資質を伸ばしてもらい、あわせて市政の現状を理解し、自由な発想のなかから思い切った提言をしてもらおうと三月中には設立。

また、五月の下旬には姉妹都市宮城県岩沼市から同じような目的で組織されている岩沼市青年市民会議のメンバー約三十人が三日間の日程で来訪。この会議とシンポジウムなどの交流を行い、意見交換をする予定です。



市制施行30周年記念

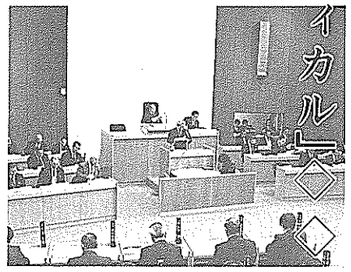
テーマは未来



旧庁舎での議会風景

映像で見る南国市 市の歩みを綴る写真集 「南国グラフィカル」◇

今日までの市の発展の経過や生活の変化、市民の姿、景観などを写真で表現。九月末の発刊を目指し、市民の皆さんに写真の提供をしていただくなど、資料収集の真っ最中です。誰もが親しみ、なつかしさを抱くような写真集にしたいと考えています。



議会風景（昭和63年）

記録映画と 観光編 ◇◇

市の姿、文化、コミュニティ活動などを一六ミリの映像に記録する三十分の記録映画「南国市」。表情豊かな子供たち、交通網などを鮮やかに表現。一方、観光編「土佐のまほろば南国市」は市の歴史、特産品などを紹介した十分の短編映画です。

❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

そのほか、議会史の発行やNHKの番組の録画、録音、岩沼市との小学生のわんぱく交流など、真に豊かな南国市を築くための未来へ引き継がれる記念事業を推進しています。記念事業は市民みんなが主役です。